

令和6年度全国学力・学習状況調査の宇部市の結果について

1 調査概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から

○全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る

○学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる

○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査期日 令和6年4月18日（木）

(3) 学校数及び対象学年（人数）

① 市立小学校：24校 対象学年：第6学年（1, 214名）

② 市立中学校：12校 対象学年：第3学年（1, 140名）

(4) 調査内容

① 教科に関する調査

小学校（国語、算数）

中学校（国語、数学）

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査 【小学校： 67項目 中学校： 69項目】

イ 学校に対する調査 【小学校： 76項目 中学校： 80項目】

2 調査結果

(1) 教科に関する結果

① 全体の結果

- 小学校の結果は、国語、算数で全国平均正答率を下回っている。
- 中学校の結果は、数学は全国平均正答率と同程度であるが、国語は下回っている。

小学校 平均正答率		国語	算数
R6	宇部市	66	62
	全国	67.7	63.4
	山口県	68	64

中学校 平均正答率		国語	数学
R6	宇部市	56	52
	全国	58.1	52.5
	山口県	58	52

※平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供

②教科ごとの結果

【小学校国語】

・「情報の扱い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域において、全国平均を上回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」、「読むこと」の領域において、全国平均正答率を下回った。

【小学校算数】

・「データの活用」領域は、全国平均正答率と同程度だが、「数と計算」、「図形」「変化と関係」の領域において、全国平均正答率を下回った。

【中学校国語】

・「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均正答率を上回り、「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均正答率と同程度。
・「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において、全国平均正答率を下回った。

【中学校数学】

・「数と式」の領域では全国平均正答率を上回ったが、「図形」「関数」「データの活用」の領域において、全国平均正答率を下回った。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

望ましい状況【全国より高い】	課題の見られる状況【全国より低い】
【小中ともに】 ○困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。 ○友達関係に満足している。 【小学校】 ○算数の勉強は好き。 ○理科の勉強は好き。 ○英語の勉強は好き。 ○英語の内容はよく分かる。 【中学校】 ○学校に行くのは楽しいと思う。 ○自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	【小中ともに】 ●平日のテレビゲーム、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴時間。 ●携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人との約束を守っている。 ●授業での PC・タブレットなどの ICT 機器の使用頻度。 ●総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ●国語の勉強は好き。 ●授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。 【小学校】 ●自分には、よいところがあると思う。 ●学校の授業時間以外に、普段、1 日当たりの勉強時間。 【中学校】 ●授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われている。